

# 平成28年度授業改善推進プラン 《英語》西東京市立ひばりが丘中学校

## ●児童・生徒の学力向上を図るための調査(中2)

課題の見られた問題の概要	結果
必要な情報を正確に取り出す力	62.2%
比較・関連付けて読み取る力	46.8%

## ●調査結果を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
語彙力はついてきている。語順問題等、簡単な文の組み立てについては、おおむね理解している。	問題を正しく用み取り、的確な答えを導き出す力が不足している。読解力、表現力をつけさせることが課題である。

## ●前年度の取組及び本校の実態を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
文法や語彙など、基礎的な事項については、理解できている生徒が多い。興味・関心を持って取り組む生徒が多く見られる。	長文の中から必要な情報を取り出したす読解力や、英作文に関する能力。

## ●学年ごとの課題及び改善策等

学年	生徒の実態及び指導上の課題	具体的な授業改善策
1年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スローラーナーへの知識の定着</li> <li>・表現の能力の更なる向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テストを増やし、スモールステップで語彙を増やさせる。</li> <li>・成文能力を高めるよう意識した自由英作アクティビティを増やす。</li> </ul>
2年生	単語力や文法事項の理解については、少しずつ力がついてきているが、まとまった文の読解や自由英作文においては、まだ課題が残る。	授業の中で長文を読み取り、内容を理解したり、自分の言いたいことを表現するような活動を積極的に取り入れていきたい。
3年生	基礎的な文法や語彙を習得しており、比較的読解力のある生徒が多い一方、自由英作文など表現の能力は十分ではない。	帯活動を通して一層の基礎力定着を図る。習得した事項を用いて表現する機会をできるだけ設ける。

## ●学校全体で取り組む内容

学んだことを何度もリサイクルしながら、授業内において自己表現する機会を増やしていく。教科書以外にも適度な分量の長文を読ませるなどして、読解力の育成に努める。
--